

# 信 陵

発行日 平成19年4月6日  
 発行所 福島大学経済学部信陵同窓会  
 事務所 〒960-8103  
 福島市舟場町4-30 福島大学職員会館内  
 ☎(024)522-1754 FAX521-6228  
 発行人 中川 治 男  
 印刷所 福島市東浜町 (株)クサカ印刷所

〔題字〕 今野順夫学長

〈No.71〉 入学特集



## 「自由で自律的な学び」を

福島大学長 今野 順 夫

経済経営学類の新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、経済経営学類学生として第3期生になりますが、本学類の前身

である経済学部は、学芸学部（教育学部）とともに、1949年に新制福島大学を創立しました。この経済学部は、旧制福島高等商業学校及び福島経済専門学校の輝かしい伝統を受け継いだもので、その卒業生は経済・行政・教育等各分野で大きな活躍をしております。皆さんも、先輩の活躍を誇りにして、夢の実現のために、一日一日を大切に、充実した学生生活を送られることを期

待しています。

ご承知のことと思いますが、2004年にすべての国立大学は、それぞれが国立大学法人となり、国からの運営費交付金と授業料及び自己収入（外部資金）を財源に、それぞれが特色ある大学を目指して自律的に運営することになりました。同時に本学は、この機会に自主的な全学改革を遂行し、長年の悲願であった自然科学系学域（理工学群）

を創設し、学部制度から学群学類制度へと展開しました。文系と理系の教育研究を、このコンパクトなキャンパスで行う基盤を生み出し、小規模ですが総合大学の道を歩み始めました。この制度的基盤の上に、花開かせることが出来るかどうかは、学生諸君とわれわれ教職員の積極的な取り組みにかかっています。

新制度の発足による入学生を迎えるにあたり、2005年4月「新生福島大学宣言」を発表しましたが、さらに具体化するため、「福島大学プラン2015」を今年1月に策定しました。この「プラン」では、福島大学が「自由で自律的な学びを重視する人材育成大学」と

なることを宣言しています。一人一人の学生諸君が、「地域社会に根ざしつつ、世界に羽ばたくことのできる」人材として成長することを目指しています。

多くの学生は、大学卒業後、約40年の社会人としての生活を過ごすこととなりますが、この推進力を支えているのは学生時代の学びであることを、諸先輩が教えてくれています。職業生活等で役立つ専門知識の重要性をいうまでもありませんが、社会経済の急激な進展のなかで、進むべき道を自ら見出し、進めていける柔軟性を支えているのは、幅広い視野を培う学習です。教養教育を含む共通教育での学習、自己

デザイン領域学習の重要性も、ここにあります。学生時代に、自ら「学ぶ」習慣を身に付けることができれば、実社会においても、自らの力で難問を切り開いていくことが可能となるでしょう。

本学は、「人材育成大学」を標榜しつつも、「自由で自律的な学び」を特に重視しました。安易に「多数の考え方」「常識」にのみ流されず、自らの頭で考えて、タブーを設けないで「自由に」学んで欲しいし、その学びを、自分の「こだわり」と「夢」を大切にした自主的・計画的・意識的なものにして欲しいと思います。

爽り多い学生生活を期待しています。